

北陸宣言
(2007年10月26日)

北陸経済連合会、北陸AJEC、北東アジア経済フォーラム(NEAEF)は、北東アジアにおける交流と連携を推進するために、北陸地域の地理、資源、および経済的重要性を認識して、富山県、富山市、財団法人貿易研修センターと共に、2007年10月25日～26日に富山県富山市にて第16回北東アジア経済フォーラムイン北陸を開催した。アジェンダは、環境、エネルギー、および物流であった。

第1部会(環境)では、急速な経済成長と人口増加が進み、重層的な環境劣化が危惧される北東アジア地域において、各国の共通課題として「持続可能な人間活動の姿を確立すること」の重要性が確認された。このために、地球環境の保全、種々の地域環境問題の解決を北東アジア地域の共通の意思として認識し、低炭素社会・循環型社会・自然共生社会・安全安心な社会の構築に向けた取り組みを各国協力の下に推進することが必要である。経済面における地域内の統合化が一層進展していくことが将来の方向として予測されている現在、各国政府および企業間の協力関係を緊密にし、環境モニタリング・環境情報の公開・共有の推進、地域環境ガバナンスの向上に向けた能力開発、国際間の資源循環システムの形成など地域の統合的な管理に向けた技術開発・技術交流を、この地域の産学官の役割分担の枠組みの中で拡大させることが有効であろう。またこれらの推進の為に資金メカニズムに関する検討も求められる。これらにより、北東アジアの環境資源を豊かに維持していくことが将来の世代に向けたわれわれの責務である。

第2部会(エネルギー)では、北東アジアの経済発展と安全保障にとって、エネルギーが果たす役割の重要性が再確認された。北東アジアは、地域全体の持続的な経済成長によりエネルギー需要の着実な増加が見込まれるため、エネルギーの供給を増やすことは重要な課題であるが、エネルギー効率の向上は更に重要である。特に、中国、モンゴルにおいては省エネルギー・代替エネルギー開発の余地が大きい。このため、北東アジア地域のエネルギー効率向上、核不拡散に配慮した原子力開発の促進、代替エネルギーの利用促進は域内諸国のみならず世界的に便益をもたらす可能性が高く、当該分野における北東アジア内の関係強化が重要という点について認識が一致した。省エネルギー、原子力、代替エネルギーに関する北陸の知見や先進的な取り組みが、北東アジア諸国のエネルギー協力に大きな役割を果たしうるとの期待が表明された。また、原子力については北東アジアの原子力安全技術の確立を図るため、北陸は原子力の人材育成の拠点となるなど、積極的な貢献をする。

第3部会(物流)では、北東アジア地域が一つのまとまりある経済圏として発展するためには相互の物流円滑化が不可欠となっており、共同の物流戦略構築を探ることが重要であると、参加者は同意した。北陸は、太平洋、日本列島、ユーラシア大陸を結ぶ戦略の要地に位置しており、シベリア鉄道につながる玄関口として、また高い経済成長で推移している中国東北部やモンゴル、さらには東欧諸国へつながっている。今後の取り組みとして、北東アジアにおける新たな物流体系の構築について、関係国が協力して全体的かつ包括的な観点から検討され調整される必要がある。

参加者は、開発金融に関して2007年7月25日に中国天津市にて開催された北東アジア銀

行設立のための第4回専門家会議の総括文書を歓迎し、金融研究センターを設立するなど北東アジア経済フォーラムが当該銀行の設立に向けての努力を継続すべきであると合意した。

このほか、北東アジア地域における地域経済協力に関する可能性と問題点の調査研究を支援するために、NEAEFの諸活動の一部として、10月14日より27日まで富山大学を中心としてヤングリーダープログラムが開催され、32名が参加した。フォーラム参加者は、ヤングリーダープログラムが北東アジア諸国の平和と繁栄に積極的に貢献することを認識し、今後も同プログラムが北東アジア経済フォーラム会議と共に継続的に開催される希望を表明した。

当フォーラムは、第17回北東アジア経済フォーラムを2008年秋に中国天津市にて開催するという、天津市政府を代表した王述祖天津市人民委員会常務委員会副主任の招待について感謝を込めて受諾した。

当フォーラムおよびフォーラム参加者は、北陸経済連合会の創立40周年を祝福するとともに、第16回北東アジア経済フォーラムの開催および支援に対する、北陸経済連合会、北陸電力、北陸AJEC、富山県、富山市、財団法人貿易研修センターによる多大なる貢献に謝意を表明した。また、アジアエネルギー共同体推進機構日本委員会、北東アジアビジネス協力センター、富山大学、天津市政府、北京先端科学研究所、BOGO経済研究所、韓国エネルギー経済研究所、韓国アジア太平洋研究所、中国アジア太平洋研究所、カリフォルニア大学バークレイ校東アジアプログラム、およびハワイ大学社会科学院によるフォーラム会合への協力に対して謝意を表明した。北陸経済連合会および北陸AJECに対して、その歓待と効率的な運営に関して深く感謝した。